



オレンジリングで支え合う まちづくりをめざして 7/17

認知症の基礎知識や支援方法などを学ぶ「認知症サポーター養成講座」が開催され、40人が受講しました。講師の柴山義明さんは、「認知症を正しく理解し、温かい目で見守ることが大切です」と訴えました。受講者に認知症サポーターの証である「オレンジリング」が配られました。市では、同講座の受講希望を受け付けています。くわしくは29ページをご覧ください。

7/23 伝統の虫おくり 実盛さんが乗馬して行列を先導

稲の害虫を追い払って豊作を祈る「実盛さんの虫おくり」が、長生町上荒井の桑野川堤防で行われました。地域住民など約150人が松明をかざし、「実盛さん〜んのお通りじゃ」と叫びながら川下へと練り歩きました。平家の武将・斎藤実盛に扮した勢井友義さん(80歳)が、立体型発泡スチロールで製作した馬にまたがり行列を先導。物語さながらの雰囲気をかもし出していました。



小学生が岡川で生き物調査 7/30

柳島町を流れる岡川で、中野島小と横見小の児童約50人が、中野島公民館主催の「生き物調査」を行いました。子どもたちは、徳島大学総合科学部の学生からアドバイスを受けながら川の中を網ですくい、ヌマエビ、ナマズなどを見つけました。久米健太さん(中野島小3年)は、「冷たい水が気持ち良い。思ったより多くの生き物がいてびっくりしました」と話していました。

7/31 故・杉浦 忠氏のグッズを寄贈 岩浅市長が感謝状を贈呈

南海ホークスで活躍した元プロ野球選手、故・杉浦 忠氏の野球関連グッズを、妻の志摩子さん、次女の慶子さん(大阪府堺市)から寄贈され、岩浅市長が感謝状を贈りました。グッズは、同氏が日本シリーズ最優秀選手賞を受賞した時の盾や賞状、学生時代の写真など65点。野球のまち推進課でご覧いただけるほか、グッズの展示会でも飾られる予定です。



災害ボランティアセンターを開設 復旧支援活動を展開 8/4

相次ぐ台風の襲来で、市内各所で床上浸水などの甚大な被害が発生したことを受け、阿南市社会福祉協議会は「阿南市災害ボランティアセンター」を開設して、支援要請のあった被災住宅にボランティアを派遣しました。活動は8月6日から20日まで行われ、のべ592人のボランティアがのべ123軒の被災住宅で、畳や家具などの搬出を行いました。同センターが設置されたのは今回が初めてです。

8/1 新校舎に響く歓声、広がる笑顔 阿南中学校で引っ越し

阿南中学校の校舎棟改築工事がこのほど完成し、全校生徒による引っ越し作業が行われました。生徒たちは、使い慣れた机やイスを旧校舎から運び出し、真新しい教室に運び入れました。生徒会会長の松田知也さん(3年・津乃峰町)は、「木の香りがとても良く、新校舎での学校生活が楽しみ。受験勉強にも力が入ります」と話していました。9月1日から新校舎での授業が始まります。

